

## 第9学年 家庭科 年間指導・評価計画

### 目 標

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を育成することを目指す。

### 評価の観点及びその趣旨

観 点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
趣 旨	家族・家庭の基本的な機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。	これからの生活を展望し、家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	これからの生活を展望し、家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。

月	時 数	単元名 教材	学習内容・ねらい
4	1	5編2章 幼児の生活と家族 ①幼い頃の振り返り	・自分の幼児期を振り返り、幼い頃の夢、エピソードなどをまとめる。
	1	②幼児の体の発達	・幼児の体の発達の特徴について考える。
5	0.5	③幼児の心の発達	・幼児の心の発達の特徴について考える。
	0.5	④幼児の1日の生活	・幼児の1日の生活を自分たちの生活と比較することで、幼児の特徴を理解する。
6 7	1	⑤支えられて身に付ける生活習慣	・幼児の生活習慣がどのように身についていくのか考える。 ・生活習慣の習得を支える家族の役割を考える。
	2	⑥幼児の生活と遊び	・幼児の生活やいろいろな遊びを観察し、遊びで育つ力について考える。 ・遊び道具や遊び場所について調べ、遊び道具の役割や遊ぶ環境について考える。 ・遊び道具を作る。
9	2	生活の課題と実践	・学習してきたことを生かし、改善する点や課題はないか自分や家族、幼児の衣生活を見直す。 ・課題を解決したり、より豊かな生活にしたりするための工夫を考え、計画を立て実践する。 ・各自で実践したことをまとめ、発表し合う。
10	2	5編2章 幼児の生活と家族 ⑦幼児との関わり方の工夫	・幼児との触れ合いについて、自分の課題を設定する。 ・幼児に合った接し方や遊びを工夫し触れ合う方法を考える。
11	2	⑧幼児との関わりを生活に生かす	・幼児との触れ合い活動を通して、学んだことを発表する。
12	2	⑨子どもにとっての家族	・子どもが育つ環境としての家族の役割を考える。
1	1	5編3章 これからの家族と地域 ①家族との関わり	・家族との関わりや、これからの自分の家庭生活について考える。 ・家族関係をよりよくする方法を考える。

2		②家族や地域の高齢者との関わり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の体の特徴を理解する。</li> <li>・高齢者の体の特徴を踏まえ、関わり方を考える。</li> </ul>
		③地域での協働を目指して	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭生活が地域との相互の関わりで成り立っていることに気づく。</li> <li>・地域のために自分ができることを考える。</li> </ul>
3	1	学習を終えて	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3学年間の学習を振り返り、多くのことができるようになったことに気づく。</li> <li>・できるようになったことから、これからの生活で生かしていきたいことを考える。</li> </ul>

### 【かがやきの評価について】

- 1 知識・技能  
「授業観察」「定期考査」「提出物」「作品」「実技テスト」
- 2 思考・判断・表現  
「授業観察」「提出物」「作品」
- 3 主体的に取り組む態度  
「授業観察」「課題への取組」「提出物」「授業に必要な物の準備状況」